

River Diary

R7

7/6 吉野川一斉清掃を実施

7月は河川愛護月間。「美しい吉野川をみんなの手で」を合言葉に、今年も7月の第1日曜日に吉野川一斉清掃を実施しました。吉野川、旧吉野川、今切川など流域一帯で早朝から熱心に清掃活動が行われました。きらきらと輝く吉野川が、まるで笑っているかのようなようでした。



7/25~27 吉野川フェスティバル

吉野川最大のイベント、「吉野川フェスティバル2025」で今年もブースを出展。パネル展示や機関誌の配布などで活動をPRしたり、子ども達にはコマとヨーヨーの色つけ体験を楽しんでもらいました。早朝の河川清掃にも大勢の方が参加され、夜の花火大会まで吉野川とともに川辺のイベントを楽しみました。



9/8~16 吉野川魅力発見 パネル展を開催

県内外の方々に吉野川の魅力をお伝えし、当会議の活動を紹介するパネル展を、9月8日~16日、徳島県庁1階の県庁ふれあいセンターにて開催しました。川を通じたイベント活動への取り組みなどをご覧ください



6/20~21 11/21~22 「3001年の森」で下草刈り

NPO法人 新町川を守る会では高知県大川村の村有林を借り受け、「3001年の森」と名付けて照葉樹の植林を行っています。今年も6月と11月に植林、下草刈りなどの手入れと、源流の人達との交流会を行いました。2001年に始まったこのプロジェクト。水源地域の森を守ることは私達の命の水を守ること——豊かに繁る森を見て思いを新たにしました。



- ◆ 令和7年度総会を開催しました
- ◆ 令和7年度総会を開催しました
- ◆ 交流事業
- ◆ アドプト・プログラム吉野川の推進
- ◆ 子どもの交流体験事業の実施
- ◆ 地域イベントとの交流事業の実施
- ◆ 三大河川交流事業の実施（流域間交流事業）
- ◆ 国土交通省との共催事業の実施
- ◆ 「恵みの宝庫『吉野川』創造プロジェクト」の連携事業の実施
- ◆ 情報発信事業
- ◆ 機関誌「四国三郎吉野川」の発行
- ◆ インターネットによる全国への情報発信
- ◆ 各種イベントでの活動のPR、パネル展など
- ◆ 会員の募集
- ◆ イベント等で入会案内を配布し、新規正会員、賛助会員を募集



住友康彦会長より感謝状が贈呈されました



和やかに、かつ熱心に意見を交換



日本三大暴れ川の仲間が1年ぶりに集合

利根川、筑後川、吉野川の三河川交流がスタートして早や20年。9月20日・21日、久留米大学御井学舎（久留米市御井町）において「三河川交流フォーラム2025」が開催され、吉野川から19名が参加しました。パネルディスカッションでは活動報告に続き、今後の交流について活発な意見交換が行われました。夜の交流会では、この日、誕生日を迎えた中村英雄さん（当会議副会長）に、川仲間からバースディケーキのサプライズも！翌日は、久留米市美術館や百年公園、筑後川の防災拠点「くるめウス」などを訪れ、流域の自然や文化を満喫しました。



三大河川交流 in 筑後川

阿波市から参加の森川新太さん(8歳)はお父さんの浩太さんとSUP体験を楽しみました。「ひとりでも怖くなかったよ!」

「魚の公民館や〜!」と歓声をあげる川原颯一郎さん(8歳)。魚や海洋生物が大好きな颯一郎さんのために、はるばる東みよし町から参加。「川の絵本を描きたい」と夢を語ってくれました

つぎ町の麻種さくらさん(10歳)、しずくさん(6歳)姉妹。「SUPに立つのは難しかったけど、漕いで進むと面白かった」とゴキゲン!!

2025.8/2

2025.8/2

2025.8/4